



第10回
博物館研究会
講演会

ヌソ(犬ぞり)から考える アイヌ文化の復興

樺太アイヌ社会において、ヌソ(犬ぞり)は冬季の移動に欠かせない用具・技術であった。本講演会では、北原氏からヌソ研究の最新動向をお話いただくとともに、先住民文化復興における博物館の役割を考える。

日時

2019年7月14日(日)
14時~16時

参加無料
申込不要

場所

北海道大学総合博物館・講演室N127(知の交差点)

プログラム

講演：北原モコツウナシ
(北海道大学アイヌ・先住民研究センター 准教授)

「ヌソ(犬ぞり)の復興と博物館の役割」

コメント：近藤 祉秋
(北海道大学アイヌ・先住民研究センター 助教)

共同開催

北海道大学アイヌ・先住民研究センター 儀礼・信仰プロジェクト／生業と食プロジェクト
博物館研究会(北海道大学総合博物館)

お問い合わせ

北海道大学アイヌ・先住民研究センター 近藤 祉秋
shiaki.kondo@let.hokudai.ac.jp